

視聴覚教育

NO.287

発行日

14.11.7

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

『ルーター』
ネットワーク同士を接続するために利用する中継装置。家庭内や会社内や学校内につくったLANをインターネットにつなぐ場合などにも利用される。

「視聴覚教育あれこれ」

おめでと〜いございます

平成十四年度

全国自作視聴覚教材コンクール

平成十四年度全国自作

視聴覚教材コンクールの表彰式が十月二十五日に大阪市で行われ、岡崎市自作教材制作委員会の制作した四作品が入賞し、表彰された。全国入賞は昭和六十三年以降十四年連続であり、岡崎市自作教材ビデオの質の高さを物語っている。入賞作品は次の通りである。

優秀賞

中学校の部

『ある食品工場の挑戦ー味噌からの出発ー』
(中3社会)

『Joyful English 『Whose melon?』

ーIt to〜構文ー』(中3英語)

入選

小学校の部

『イチゴ作り農家をたずねて』(小3社会)

『社会教育の部

『蘇れ！奇跡の湿地ー北山湿地を守るー』

放送教育・視聴覚教育総合全国大会

大阪大会の参加報告

学習情報指導員 小川規博

去る十月二十四〜二十五日、放送教育および視聴覚教育総合全国大会大阪大会が、「メディアで創る豊かな学びを求めて」を主題に開催された。

今年度は、放送教育の全国大会と視聴覚教育の総合全国大会が同時に開催されるという記念すべき大会であった。そのため、コンピュータやネットワークといった視聴覚メディアに、放送というメディアをどう組み合わせるかを授業を展開していくのかという、新しい方向性が確認された興味深い大会となった。

総合全体会では、「メディアではぐくむ21世紀型学力」と題し、大阪教育大学の田中博之教授から基調提案があった。つきたい学力を明確にして「生きる力」をはっきりさせ、カリキュラムのトータルデザインをバランスのよいもの

にしていくこと、メディアミックスに取り組み、効率の良い学習を進めることの必要性が強調された。

全国各地の実践発表の中から、インターネット上の動画クリップ、ホームページなどの利用などが定着しつつある様子が伺われた。今後、ネットワーク型のコンテンツは目覚ましい勢いで普及すると予想される。岡崎市においても、校内LANの整備に伴い、こうした授業が日常的に行われなければならないと感じた。

岡崎市からは、学習情報指導員の六ツ美北中学校、名倉嘉章教諭が「ネットワークがもたらす学社融合」分科会において提案を行った。学校教育と社会教育施設である視聴覚ライブラリーとの連携について、映像制作や映像利用、コンピュータ・ネットワークを活用した映像配信などの取り組みを報告した。助言者および参会者より、岡崎市の取り組みについて質疑が集中し、その歩みと方向性の確かなことを再確認することができた。



「実践報告」

放送って、おもしろい！

美合小学校 福岡 吾隆

五年生の本学級は、国語科「ニュースを伝え合おう」、社会科「放送局の働き」を関連させて単元を構成、学習を進めた。

導入でニュース番組から「伝える」工夫や努力を調べ、社会科の「ニュースを放送する」に沿いながら、機器・放送手順等を放送室を使って説明した。実際に機器を前にした児童の関心は高く、「やってみよう！そんな気持ち広がった。」

取材から原稿作りに入った。夏季の校内放送講習会で資料として配布された東海ラジオ放送の実物コピー原稿を提示してみたところ、児童たちは必要最小限で意外と簡単なつくりで驚いた。が、そのおかげでニュース原稿は力を抜いて書き上げることができた。

リハーサルからは、自分の姿、話し方を実際に見るにより、多くの改善点が見出された。そのため、質の高い発表ができた。ビデオの再生によるフィードバックの機会も非常に効果的に行うことができた。



「レッツ・トライ」 目と耳から

季節を楽しんでみてはいかが？

秋も深まり、校庭の雑草の中からきれいな虫の鳴き声が聞こえる。連尺小学校の三年生は、総合的な学習の時間で、「虫ともだち」をテーマに一年間、昆虫を追究している。卵から成虫までの成長の記録をとったり、季節の虫を追いかけてたりと活動も様々である。その活動の中で子供たちから「コロコロとか、リンリンとかジーンって鳴く虫がいたけど、近づくと静かになつてどんな虫が分からなかったよ」という声をよく聞く。図鑑は虫の形態が分かっているといふと調べられないので、困ってしまう子どもも多い。

そこで紹介するのが富士通SSLの『小さな演奏家』シリーズである。季節に合わせ、いろいろな虫のことを調べることができる。特におすすめなのが、その中にある「ミニ図鑑」で、鳴き声から虫の正体を調べることができる（解説付）。実際に姿が見られなくても、その昆虫の存在を知ること、「今度、探しに行きたい！」と子供たちの虫に対する興味はいつそう増す。また、虫の一生や鳴く原理などの解説をするものやクイズもあり、楽しみながら昆虫の世界に夢中になっていける。操作はマウスだけなので、低学年から高学年まで利用できる。

（連尺小 学習情報主任 渡辺修一郎）

ライブライブラリーだよ

寄贈ビデオの紹介

『メアフエルトの風

ドイツ・勇壮な野生馬の祭り』(45分)

『相手を理解する

言葉の背景を見つめると…』(37分)

『日本の山村

きれいな水と空気を守る森林』(18分)

『アングリンの農林水産ワールド

水田はどんな働きをしているの』(37分)

『みらいしようぼうしキータ』(12分)

『知っていますか？支えて支えられること

ー公的年金制度ー』(25分)

*貸し出しを希望される方は、視聴覚ライブラリーにお問い合わせください。

(電話 2316789)

教育ネットワークを利用したライブライリーの資料検索について(小中学校の先生方に)

岡崎市教育ネットワークでは、視聴覚ライブラリーの映像資料を検索することができます。

教育ネットワークのトップページを開くとメニューがあります。「教育・研究情報」から一覧表示や絞り込み検索、キーワード検索ができます。学校のパソコンから手軽に検索することができます。ビデオの貸し出し、ダビングサービス等に活用してください。